

# SURUGA bank Hello Book 2008

ミニディスクロージャー誌

第197期営業のご報告

平成19年4月1日～平成20年3月31日

## ごあいさつ

### 当社の概要 平成20年3月31日現在

設立	明治28年10月19日		
本店	静岡県沼津市通横町23番地		
店舗数	国内	124	
	静岡県内	80	神奈川県内 36
	東京都内	4	千葉県内 1
	埼玉県内	1	愛知県内 1
	大阪府内	1	
資本金	30,043百万円		

## 目次

ごあいさつ	1
営業の概況	3
不良債権の状況	8
財務情報	10
格付け	16
トピックス	16
地域への支援活動	18
株式についてのご案内	19
主なインターネット支店一覧	20
営業店舗網	21

本誌の表示金額は単位未満を切り捨てて表示しています。



皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに当社第197期の営業の概況についてご報告申し上げます。

#### 【金融経済環境】

当期における日本経済は、期初、設備投資の加速や個人消費の回復による内需主導の成長が期待されていたものの、米サブプライム問題による世界的な金融システム不安に端を発した信用収縮や経済停滞、鈍化を懸念した株価下落や、改正建築基準法施行に伴う建築着工件数の大幅減少、原油など商品市況の高騰と急速なドル安などにより内需の伸びも鈍く、景気回復は足踏み状態となりました。このような状況を背景に、当日日銀は金融政策を現状維持し政策金利の引き上げを見送りました。

このような経済環境のもと、株式市場につきましては、期初に17,800円台で始まった日経平均株価は世界景気の拡大期待を背景に緩やかに上昇し、6月には18,000円台まで上昇しましたが、7月下旬以降は米サブプライム問題に端を発した国際金融・資本市場の緊張の長期化や世界景気の減速懸念により大幅に下落しました。特に3月には米国市場における金融不安の再燃により米国株が大幅下落したことを受け、一時11,600円台まで下落しました。その後は大手証券会社救済など金融不安を回避するための米金融当局の迅速な行動により、過度な悲観論は後退し、ドル安が一服したことで3月末には12,500円台を回復しました。

債券市場では、期初に1.6%台で始まった長期金利の代表的指標である新発10年物国債の流通利回りは、世界景気の拡大期待や日銀による利上げ期待を背景に、6月に1.9%台まで上昇しました。しかし、7月下旬以降は米サブプライム問題に端を発した信用収縮や内外実体経済の悪化懸念による株価下落などにより、3月に一時1.2%台前半まで低下しました。その後は株価が上昇に転じたものの、長期金利の上昇はわずかなものにとどまり、1.2%台後半で3月末の取り引きを終えました。

また、外国為替市場は、期初に良好な米雇用統計を材料とする米国での早期利下げ観測の後退等を受けた円キャリートレード再開の思惑を背景に、一時124円台前半まで円安が進行しました。しかし、8月上旬には仏大手銀行傘下のファンドの資産凍結を契機に、信用収縮懸念の拡大や株安が進むなか一時111円台半ばまで円高が加速しました。年度中盤に117円台後半まで円安に戻る局面もありましたが、その後の欧米銀行によるサブプライム関連の追加損失発表を受け、信用不安が再燃し、中東の政府系ファンドによる米大手銀行への出資や米国政府によるサブプライム救済策の発表にも関わらず、米国経済のリセッション入りの懸念からドル売りが活発となり、3月17日には95円台後半まで円高が進行し、その後もドル売り基調は変わらず、100円を挟む展開で期末を迎えました。

#### 【業界動向】

各金融機関においては、銀行代理店制度などの規制緩和や郵政民営化等により、業態や地域を越えた競争がより一層激化しております。また、道州制を視野に入れた地域金融機関再編の動きも出てきており、時代の要請に合わせた特徴のある新しい金融機関の形が求められています。一方で、9月に施行された金融商品取引法では、金融商品販売時の金融機関の説明責任を厳格化するなど、金融機関に対する信頼性が問われており、内部統制報告制度の本格導入など管理体制の一層の強化が求められています。

#### 【当社の業況】

当社は、個人ならびに中小企業のお客さま向けのリテール業務を中心として、お客さまの期待を超えたサービスをご提供し続け、社会から不可欠の存在として高く評価されることを目標とするとともに、当社グループ全体の収益拡大および健全な財務体質の構築に努めております。当期につきましては、米国のサブプライム問題に端を発した世界的な株式市場の急落により保有株式の減損が発生したものの、当社のコアビジネスのひとつである個人ローンの残高が着実に増加したことで、銀行本来の収益は順調に推移し、会計制度の変更に伴う特別損失等の増加により当期利益は減益だったものの、経常利益は5期連続で過去最高益を達成することができました。好調な企業業績の利益還元の一環として、年間一株当たり配当金を前年度比2円増配し13円(中間配当6円・期末配当7円)としました。

#### 【当期中の取り組み】

新商品・サービスにつきましては、平成12年に邦銀で初めて当社が取り扱いを開始した女性向け住宅ローンの新しいラインナップとして、平成19年8月、夢の実現に向けて頑張る女性を応援するため、さまざまなヘルス&ライフサポートを付帯した女性向け住宅ローン「Dream Styleホームローン」を発売いたしました。9月には、個人のお客さまの相続に関するニーズ・ご相談にお応えするために、地方銀行

では全国で2行目となる銀行本体による「遺言信託」、「遺産整理業務」の取り扱いを開始、12月には、静岡県内の他の金融機関に先駆けて、第三分野の保険商品である医療・がん保険商品の販売を開始いたしました。平成20年2月には、「人生のセカンドステージを最高の彩りあるもので楽しみたい」というお客さまにお届けする「ドリームライフ定期」シリーズのひとつとして、ご退職を迎えられるお客さま専用の金利優遇円定期預金「ドリームライフ定期『退職金プラン』」を発売いたしました。

お客さまの個人情報保護をはじめとした情報セキュリティにつきましては、これまで情報セキュリティ強化のための各種対策を講じてまいりましたが、平成19年11月、お客さまの大切な財産をお守りするため「生体認証(指静脈)対応ICキャッシュカード」の取り扱いを静岡県内の金融機関では初めて開始いたしました。生体認証対応ATMにてお客さまの手の指静脈パターンにより本人確認させていただくことで、キャッシュカードの偽造・盗難等による不正引出被害を防止することができ、指静脈認証方式を採用している提携金融機関との相互利用も可能となっております。

営業店舗につきましては、平成19年5月に「大阪支店」を開業。9月にはエヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社との提携によりインターネット支店「OCN支店」を開業、同じく9月に国内最大級のポイント交換サイト「Gポイント」を運営するジー・プラン株式会社と提携して「ネットバンク支店」内に「Gポイントクラブ」を開業いたしました。

当社の基幹事業のひとつである住宅ローンのご相談をお受けする窓口につきましては、5月の大阪支店開設と同時に「ドリームプラザ大阪」、同じく5月に「富士ハウジングローンセンター」を開業、6月には「ドリームプラザ名古屋」を開業しました。

また、ゆったりと落ち着いた雰囲気の中で、お客さまの大切な資産運用のご相談をお受けする窓口として、平成20年2月に「ドリームサロン厚木」、また同じく2月に静岡県内では初となる資産運用相談に特化した窓口として「清水ファイナンシャルプラザ」を開業しました。

当社では、新たな分野への積極的な取り組みにより、「お客さまの期待を超えた良質のサービス」をご提供し、「ライフ アンド ビジネス コンシェルジュ」として、お客さまの<夢をかたちに>する、<夢に日付を>いれるお手伝いのできるパートナーとなるべく、役職員一丸となって努力してまいる所存でございます。

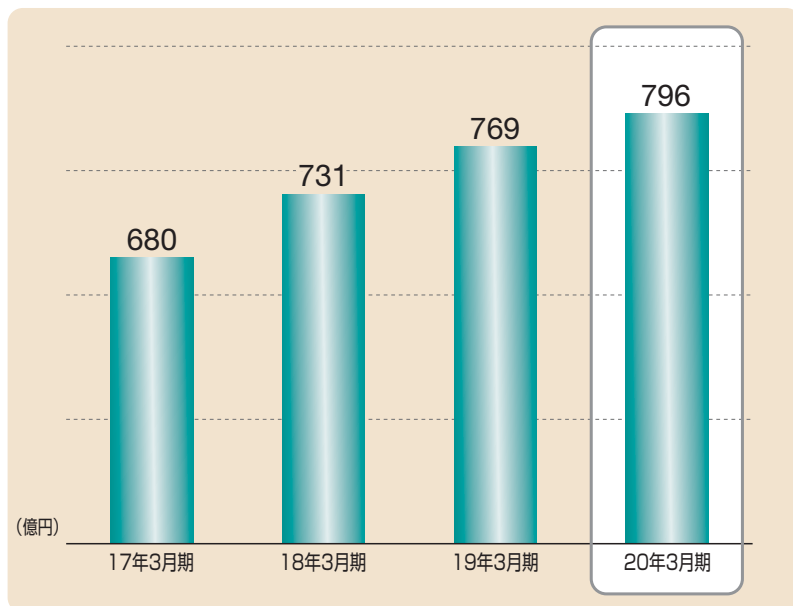
皆さま方には、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年6月

社 長 岡野光喜

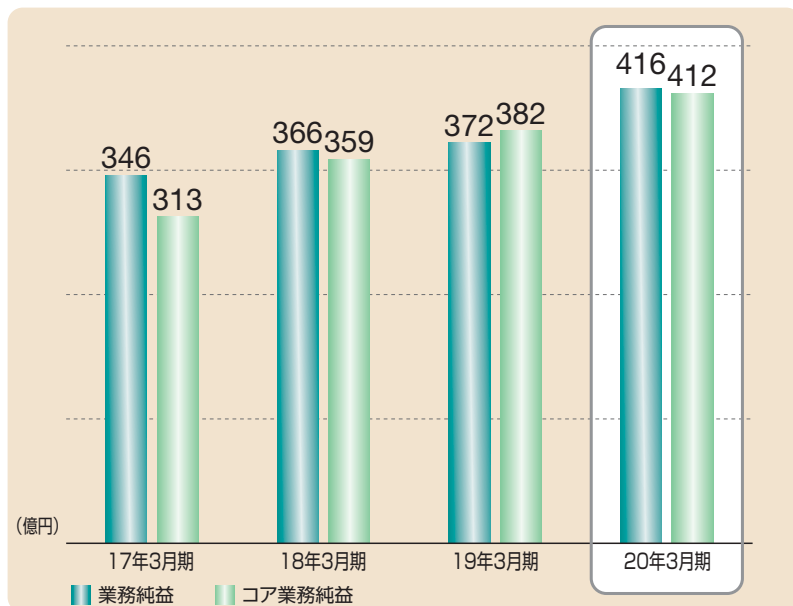
## 営業の概況

当期の業績につきましては、次のとおりです。



### ■ 業務粗利益

業務粗利益は、銀行の基本的な業務による利益を表すもので、貸出金や有価証券、預金などの利息収支を表す「資金利益」、各種手数料収支を表す「役務取引等利益」、外国為替などの売買損益を表す「その他業務利益」により構成されます。収益性の高い個人ローンの増加や、政策金利引き上げに伴う貸出金利息および有価証券利息等の資金利益の増加により前年度比27億円増加しました。



### ■ 業務純益／コア業務純益

コア業務純益は、経費が増加したものの、資金利益の増加を主因にコア業務粗利益が増加したことにより、前年度比30億円増加しました。

業務純益は、コア業務純益の増加と、一般貸倒引当金繰入額の減少などにより、前年度比43億円増加しました。

業務純益は、銀行本来の業務に関する収益力を表す銀行固有の指標で一般企業の営業利益に相当するものです。

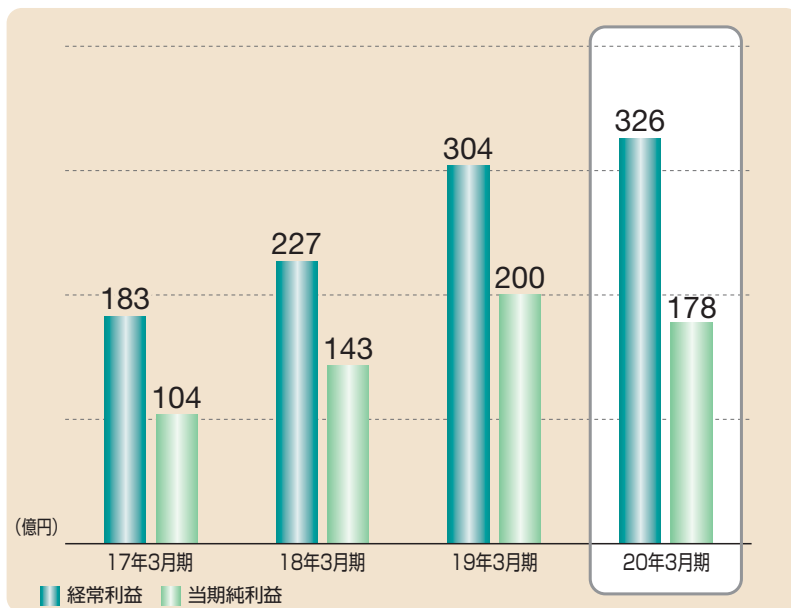
コア業務純益は、業務純益から特殊な要因で変動する一般貸倒引当金繰入額と国債等債券関係損益の影響を除いたもので、より実質的な銀行本来の業務に関する収益力を表しています。

業務純益

= 業務粗利益 - 経費 - 一般貸倒引当金繰入額

コア業務純益

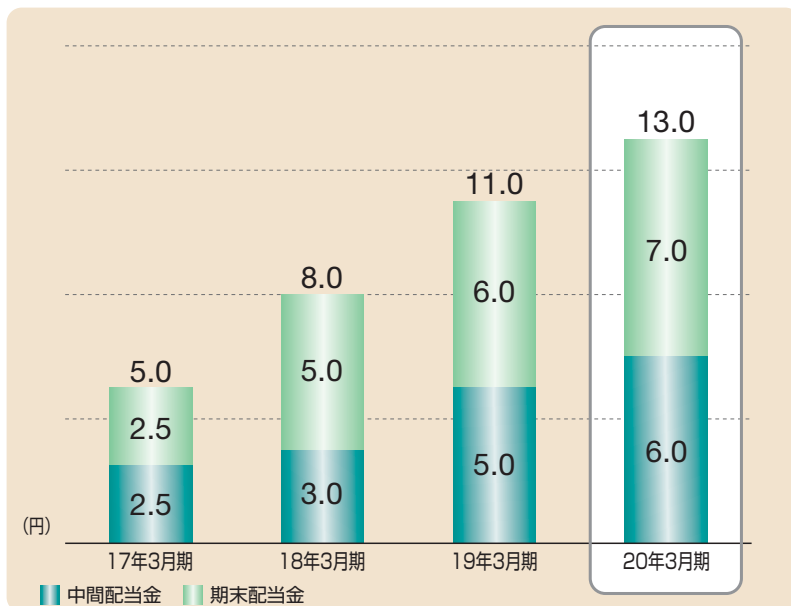
= 業務純益 (一般貸倒引当金繰入前) - 国債等債券損益 (5勘定)



## ■ 経常利益／当期純利益

経常利益は、米国のサブプライム問題に端を発した世界的な株式市場の急落により保有株式の減損が発生したものの、当社のコアビジネスのひとつである個人ローンの残高が着実に増加したことで、銀行本来の収益は順調に推移し、前年度比22億円増加しました。

当期純利益は、経常利益は増加したものの、会計制度の変更に伴う特別損失等の増加により前年度比21億円減少しました。

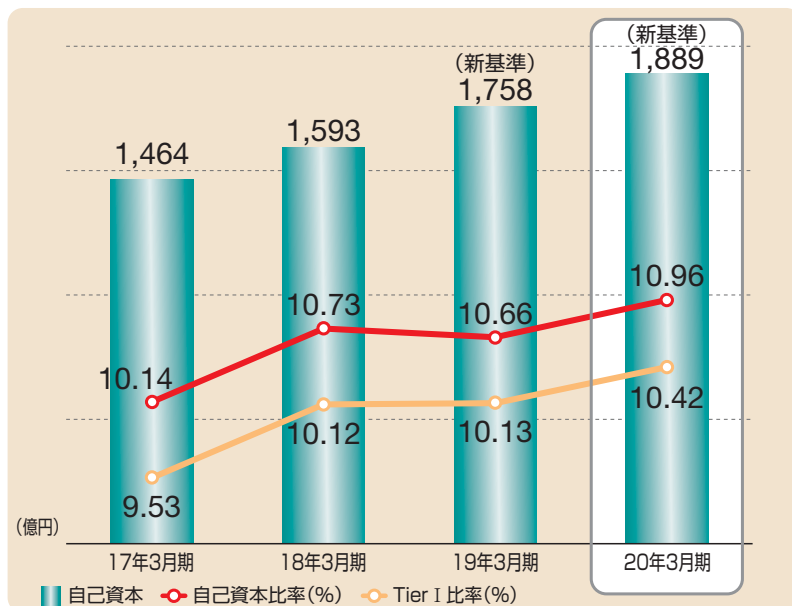


## ■ 一株当たり年間配当金

利益の増加に伴い、内部留保が拡大し、自己資本が順調に増加したことにより株主の皆さまへより一層の利益還元を図るべく、期末配当金を従来予想に対して1株当たり1円増配し7円といたしました。これにより、1株当たり年間配当額は前年度比2円増配の13円となりました。

今後も財務体質の強化を図るとともに、株主の皆さまへの利益還元を重要な経営課題のひとつとして、積極的に取り組んでまいります。



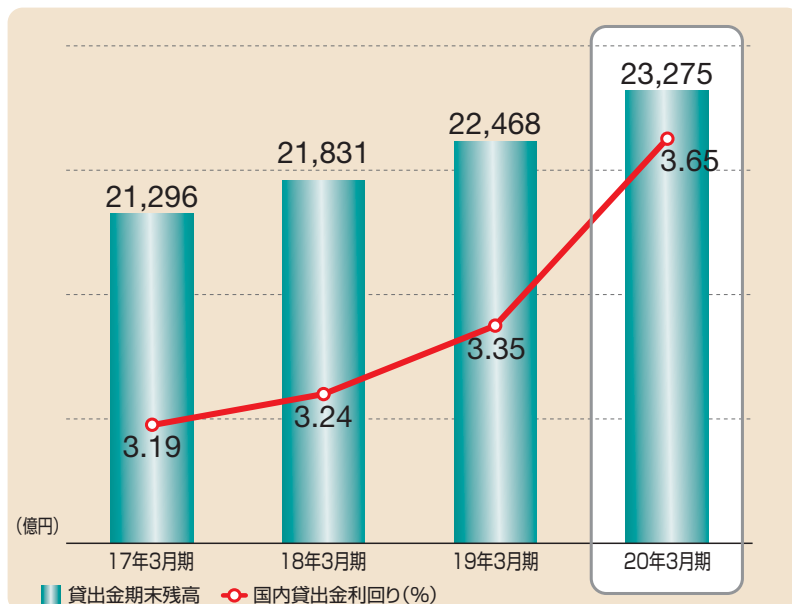


### ■ 自己資本／自己資本比率(国内基準)

自己資本は資本金、資本剰余金、利益剰余金等の基本的項目(Tier I)と一般貸倒引当金等の補完的項目(Tier II)により構成されています。

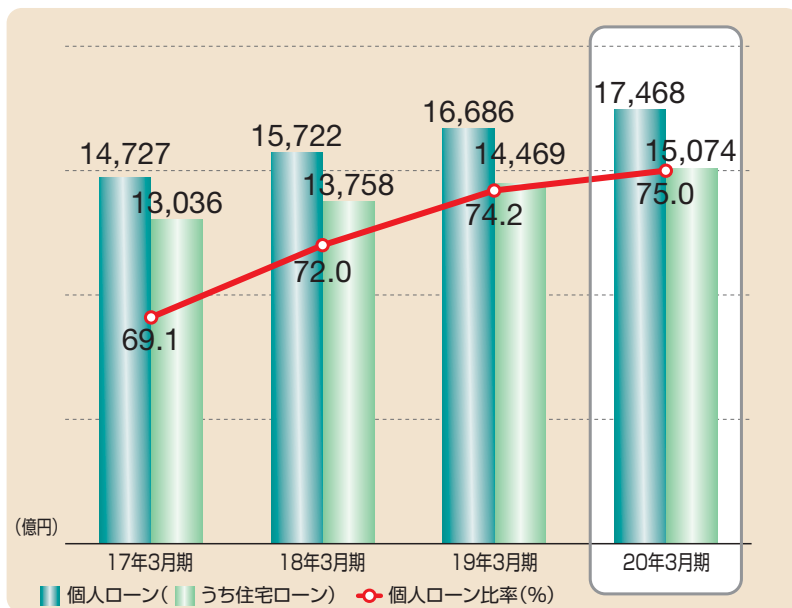
自己資本比率につきましては、平成19年3月期より新たな基準に基づき算出しております。当期は利益の積み上げによる内部留保の増加等により前年度末比0.30%上昇し、10.96%となりました。当社の補完的項目(Tier II)は一般貸倒引当金のみ計上しております。

自己資本比率  
 = 自己資本額(基本的項目+補完的項目-控除項目) / リスクアセット × 100  
 Tier I 比率  
 = 自己資本額(基本的項目: Tier I) / リスクアセット × 100



### ■ 貸出金期末残高／国内貸出金利回り

貸出金期末残高は、個人ローンの順調な増加により、前年度末比806億円増加の2兆3,275億円となりました。また、国内貸出金利回りは収益性の高い個人ローンの増加や、平成19年2月の政策金利引き上げによる貸出金利回りの上昇に伴い、前年度比0.30%上昇し3.65%となりました。

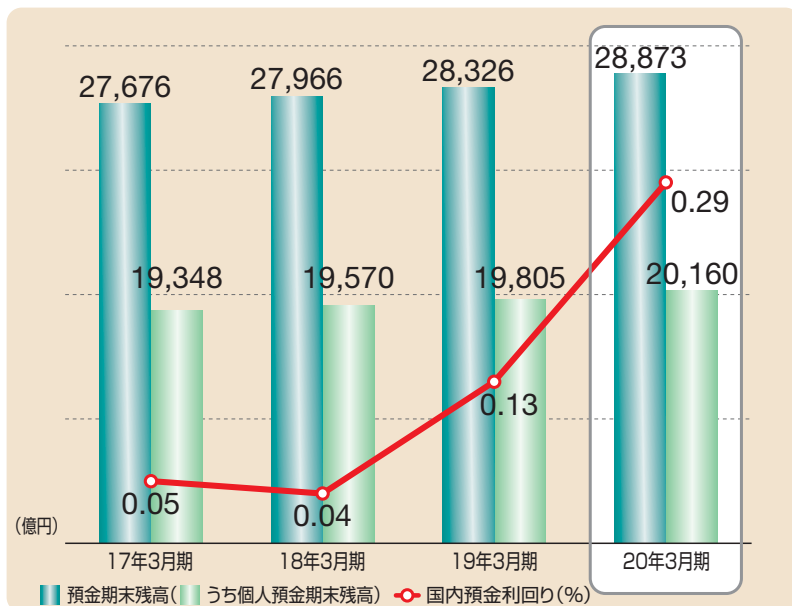


### ■ 個人ローンの推移

個人ローン期末残高は、耐震偽装問題への対応による建築確認審査の厳格化に伴う住宅着工件数の大幅な減少等、市場環境が厳しい中、前年度末比781億円増加の1兆7,468億円となりました。

住宅ローン期末残高は、前年度末比605億円増加し、1兆5,074億円となりました。

総貸出金に占める個人ローンの比率は0.8%上昇し、75.0%となりました。

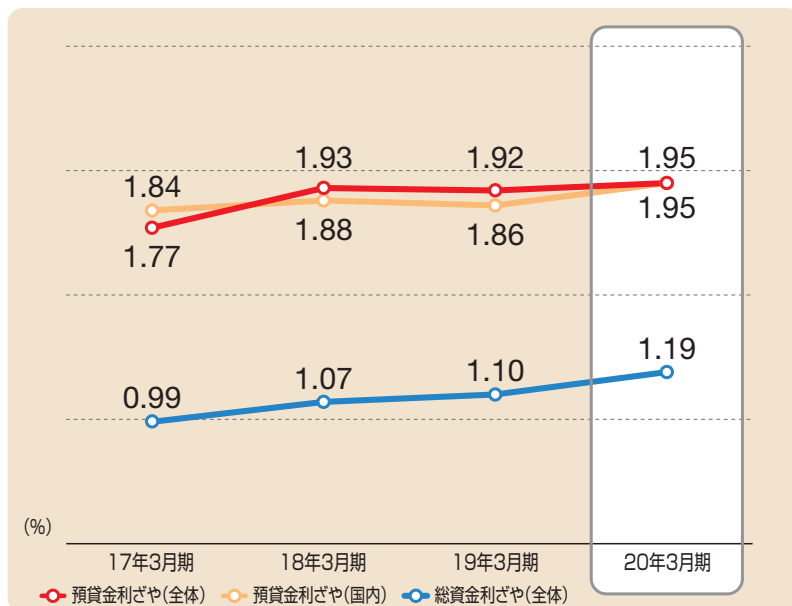


### ■ 預金期末残高／国内預金利回り

預金期末残高は、個人預金の増加を主因に前年度末比546億円増加し、2兆8,873億円となりました。

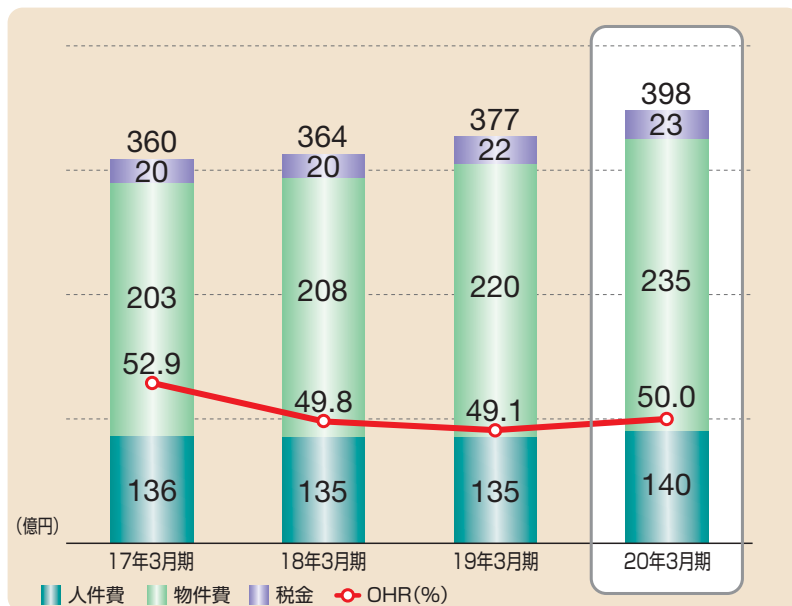
個人預金期末残高は、前年度末比355億円増加し、2兆160億円となりました。国内預金利回りは前年度比0.16%上昇し、0.29%となりました。

## 営業の概況



### ■ 預貸金利ざや(全体) / 預貸金利ざや(国内) / 総資金利ざや(全体)

預貸金利ざやは、貸出金利回りから預金利回りと経費率を控除したものです。総資金利ざやは、資金運用全体と資金調達全体の利回りの差を表すものです。預貸金利ざやは、貸出金全体に占める変動金利貸出金の割合が高いことが寄与し、貸出金利回りの上昇が預金等利回りの上昇と営業強化のための経費率の上昇を上回った結果、国内預貸金利ざやで前年度比0.09%上昇し1.95%へと拡大しました。



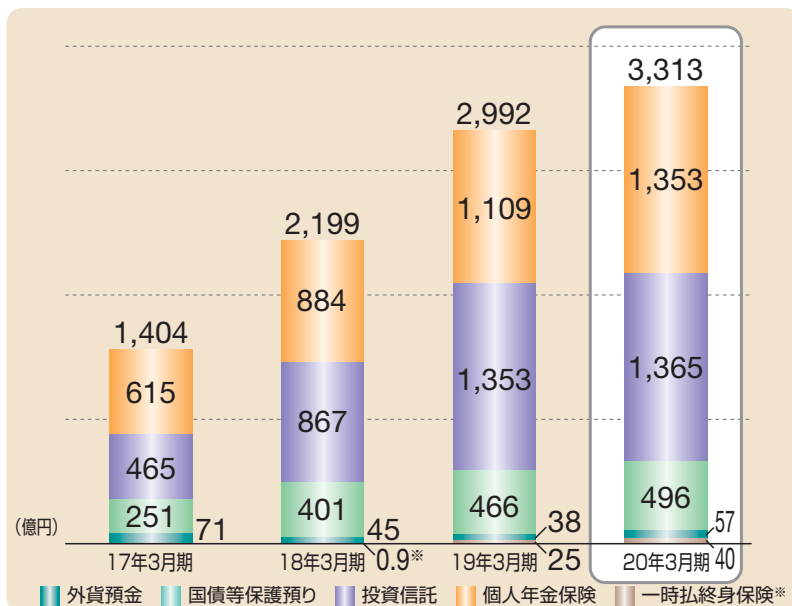
### ■ 経費 / OHR

経費は、新店舗設置等の営業強化に伴う費用が増加したことにより、前年度比20億円の増加となりました。

効率性を示す指標であるOHR（オーバーヘッドレシオ）は、業務粗利益が増加したものの経費も増加したことから、前年度比0.9%上昇し50.0%となりました。

OHR（オーバーヘッドレシオ (%)）= 経費 / 業務粗利益 × 100

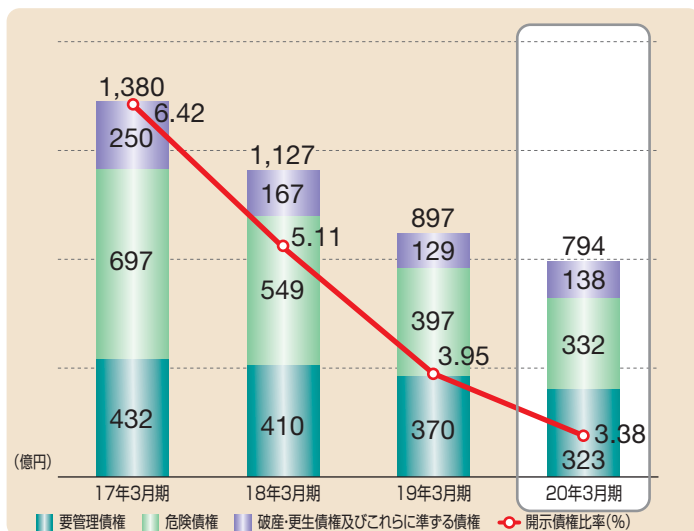




### 個人預り資産残高(投資性商品)

個人預り資産(投資性商品)の期末残高は、年度後半に株式市場が低迷した影響を受けたものの、商品ラインナップの充実と営業力の強化等により、個人年金保険を中心に前年度末比320億円増加しました。

### 不良債権の状況



### 金融再生法開示債権残高・比率の推移

より一層の資産の健全化を図るため、迅速な処理を進める一方、お取引先への経営改善支援にも積極的に取り組みました結果、開示債権額は、前年度末比102億円減少し794億円となりました。総与信額に対する開示債権比率は前年度末比0.57%低下し、3.38%となりました。

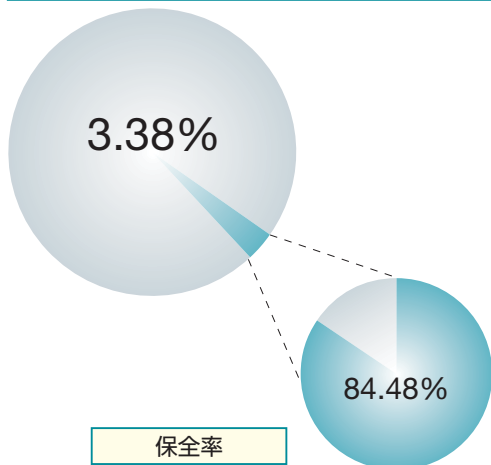
開示債権比率(%) = 開示債権残高 / 総与信残高 × 100

## 不良債権の状況

### 金融再生法に基づく開示債権

対象：要管理債権は貸出金のみ、その他は貸出金等と信関連債権

総与信残高に占める比率

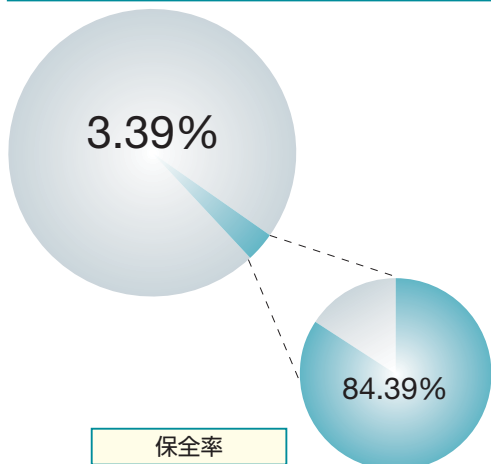


		担保・保証	引当額	保全率
破産・更生債権及びこれらに準ずる債権	138億円	89億円	49億円	100.00%
危険債権	332億円	196億円	114億円	93.25%
要管理債権	323億円	149億円	72億円	68.79%
小計	794億円	435億円	235億円	84.48%
正常債権	2兆2,681億円			
合計	2兆3,476億円			

### リスク管理債権

対象：貸出金

総貸出金に占める比率



破綻先債権	12億円
延滞債権	454億円
3ヶ月以上延滞債権	11億円
貸出条件緩和債権	311億円
合計	790億円

貸出金残高(未残) 2兆3,275億円

### 自己査定における債務者区分

対象：貸出金等と信関連債権

破綻先	13億円
実質破綻先	124億円
破綻懸念先	332億円
要注意先	
要管理先	498億円
要管理先以外の要注意先	2,126億円
正常先	2兆379億円
合計	2兆3,476億円

※貸出金等と信関連債権：貸出金・支払承諾見返・外国為替・貸付有価証券・貸出金に準ずる仮払金・貸出金未収利息・当社保証付私募債

# 財務情報

## 第197期末 連結貸借対照表 (平成20年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	金額
(資産の部)	
現金預け金	84,213
コールローン及び買入手形	147,600
商品有価証券	3
金銭の信託	2,469
有価証券	464,973
貸出金	2,323,561
外国為替	3,165
その他資産	40,927
有形固定資産	41,693
建物	6,574
土地	15,969
建設仮勘定	806
その他の有形固定資産	18,343
無形固定資産	6,971
ソフトウェア	4,384
ソフトウェア仮勘定	1,220
その他の無形固定資産	1,366
繰延税金資産	22,733
支払承諾見返	6,536
貸倒引当金	△36,587
資産の部合計	3,108,262

科目	金額
(負債の部)	
預金	2,885,309
借入金	5,313
外国為替	10
その他負債	23,009
賞与引当金	590
役員賞与引当金	51
退職給付引当金	143
役員退職慰労引当金	2,560
睡眠預金払戻損失引当金	297
特別法上の引当金	0
支払承諾	6,536
負債の部合計	2,923,822
(純資産の部)	
資本金	30,043
資本剰余金	19,489
利益剰余金	137,563
自己株式	△1,992
株主資本合計	185,102
その他有価証券評価差額金	△2,116
繰延ヘッジ損益	27
評価・換算差額等合計	△2,089
新株予約権	243
少数株主持分	1,181
純資産の部合計	184,439
負債及び純資産の部合計	3,108,262

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 第197期 連結損益計算書 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
<b>経常収益</b>	<b>116,672</b>
<b>資金運用収益</b>	<b>92,949</b>
貸出金利息	84,917
有価証券利息配当金	5,140
コールローン利息及び買入手形利息	990
預け金利息	5
その他の受入利息	1,896
<b>役務取引等収益</b>	<b>14,739</b>
<b>その他業務収益</b>	<b>5,827</b>
<b>その他経常収益</b>	<b>3,155</b>
<b>経常費用</b>	<b>84,658</b>
<b>資金調達費用</b>	<b>14,833</b>
預金利息	10,230
コールマネー利息及び売渡手形利息	126
借入金利息	124
その他の支払利息	4,351
<b>役務取引等費用</b>	<b>8,443</b>
<b>その他業務費用</b>	<b>6,584</b>
<b>営業経費</b>	<b>41,181</b>
<b>その他経常費用</b>	<b>13,616</b>
貸倒引当金繰入額	2,441
貸出金償却	2,692
株式等償却	3,202
その他の経常費用	5,278

科目	金額
<b>経常利益</b>	<b>32,013</b>
<b>特別利益</b>	<b>1,116</b>
固定資産処分益	18
償却債権取立益	1,097
<b>特別損失</b>	<b>3,416</b>
固定資産処分損	755
役員退職慰労引当金過年度分繰入額	2,394
睡眠預金払戻損失引当金過年度分繰入額	267
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>29,713</b>
<b>法人税、住民税及び事業税</b>	<b>11,788</b>
<b>法人税等調整額</b>	<b>680</b>
<b>少数株主利益</b>	<b>112</b>
<b>当期純利益</b>	<b>17,131</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 第197期 連結株主資本等変動計算書 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高	30,043	18,640	123,571	△3,699	168,555
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△3,140		△3,140
当期純利益			17,131		17,131
自己株式の取得				△143	△143
自己株式の処分		848		1,850	2,698
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	—	848	13,991	1,707	16,547
平成20年3月31日残高	30,043	19,489	137,563	△1,992	185,102

	評価・換算差額等			新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計			
平成19年3月31日残高	8,169	55	8,224	68	366	177,215
連結会計年度中の変動額						
剰余金の配当						△3,140
当期純利益						17,131
自己株式の取得						△143
自己株式の処分						2,698
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)	△10,286	△27	△10,313	175	815	△9,322
連結会計年度中の変動額合計	△10,286	△27	△10,313	175	815	7,224
平成20年3月31日残高	△2,116	27	△2,089	243	1,181	184,439

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 第197期末 貸借対照表 (平成20年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	83,457	預金	2,887,332
コールローン	147,600	外国為替	10
商品有価証券	3	その他負債	16,886
金銭の信託	2,469	賞与引当金	538
有価証券	466,111	役員賞与引当金	51
貸出金	2,327,529	役員退職慰労引当金	2,555
外国為替	3,165	睡眠預金払戻損失引当金	297
その他資産	32,424	特別法上の引当金	0
有形固定資産	33,242	支払承諾	6,542
無形固定資産	5,185	負債の部合計	2,914,215
繰延税金資産	21,719	(純資産の部)	
支払承諾見返	6,542	資本金	30,043
貸倒引当金	△33,336	資本剰余金	18,587
資産の部合計	3,096,116	利益剰余金	137,127
		利益準備金	30,043
		その他利益剰余金	107,083
		自己株式	△1,975
		株主資本合計	183,783
		その他有価証券評価差額金	△2,157
		繰延ヘッジ損益	30
		評価・換算差額等合計	△2,126
		新株予約権	243
		純資産の部合計	181,901
		負債及び純資産の部合計	3,096,116

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



## 第197期 損益計算書 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
<b>経常収益</b>	<b>107,725</b>
<b>資金運用収益</b>	<b>91,040</b>
貸出金利息	82,949
有価証券利息配当金	5,203
コールローン利息	990
預け金利息	0
金利スワップ受入利息	6
その他の受入利息	1,889
<b>信託報酬</b>	<b>0</b>
<b>役務取引等収益</b>	<b>13,988</b>
受入為替手数料	3,730
その他の役務収益	10,258
<b>その他業務収益</b>	<b>636</b>
外国為替売買益	166
国債等債券売却益	128
国債等債券償還益	341
<b>その他経常収益</b>	<b>2,060</b>
株式等売却益	910
金銭の信託運用益	59
その他の経常収益	1,090

科目	金額
<b>経常費用</b>	<b>75,094</b>
<b>資金調達費用</b>	<b>14,868</b>
預金利息	10,231
コールマネー利息	126
金利スワップ支払利息	30
その他の支払利息	4,478
<b>役務取引等費用</b>	<b>9,171</b>
支払為替手数料	1,402
その他の役務費用	7,769
<b>その他業務費用</b>	<b>1,985</b>
商品有価証券売買損	1
国債等債券売却損	4
国債等債券償還損	327
国債等債券償却	1,652
<b>営業経費</b>	<b>40,143</b>
<b>その他経常費用</b>	<b>8,925</b>
貸倒引当金繰入額	418
貸出金償却	2,275
株式等売却損	8
株式等償却	2,814
金銭の信託運用損	77
その他の経常費用	3,331
<b>経常利益</b>	<b>32,631</b>
<b>特別利益</b>	<b>1,109</b>
固定資産処分益	18
償却債権取立益	1,091
<b>特別損失</b>	<b>3,458</b>
固定資産処分損	796
役員退職慰労引当金過年度分繰入額	2,394
睡眠預金払戻損失引当金過年度分繰入額	267
<b>税引前当期純利益</b>	<b>30,282</b>
<b>法人税、住民税及び事業税</b>	<b>11,107</b>
<b>法人税等調整額</b>	<b>1,292</b>
<b>当期純利益</b>	<b>17,882</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 第197期 株主資本等変動計算書 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計
					退職給与積立金	別途積立金	繰越利益剰余金		
平成19年3月31日残高	30,043	18,585	—	18,585	30,043	840	70,032	21,487	122,402
事業年度中の変動額									
剰余金の配当								△3,158	△3,158
当期純利益								17,882	17,882
別途積立金の積立							16,500	△16,500	—
自己株式の取得									
自己株式の処分			2	2					
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)									
事業年度中の変動額合計	—	—	2	2	—	—	16,500	△1,775	14,724
平成20年3月31日残高	30,043	18,585	2	18,587	30,043	840	86,532	19,711	137,127

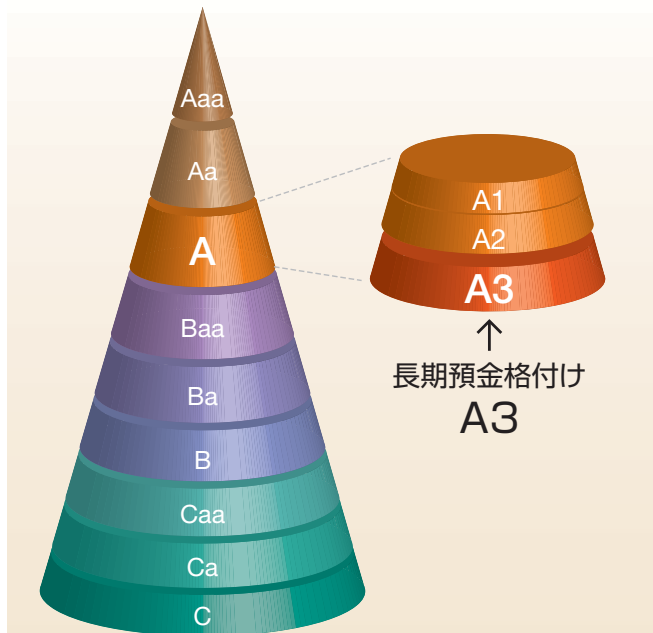
	株主資本		評価・換算差額等				新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計			
平成19年3月31日残高	△1,953	169,078	8,080	58	8,138	68	177,285	
事業年度中の変動額								
剰余金の配当		△3,158					△3,158	
当期純利益		17,882					17,882	
別途積立金の積立		—					—	
自己株式の取得	△143	△143					△143	
自己株式の処分	121	123					123	
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)			△10,237	△27	△10,264	175	△10,089	
事業年度中の変動額合計	△21	14,704	△10,237	△27	△10,264	175	4,615	
平成20年3月31日残高	△1,975	183,783	△2,157	30	△2,126	243	181,901	

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 格付け

当社では、お客さま、株主のみなさま、投資家のみなさま等に当社の経営内容についてよりご理解いただくために、客観的な評価としてムーディーズ・インベスターズ・サービスより格付けを取得しております。

当社の高い収益性や安定的な自己資本比率が評価され長期預金格付けで「A3」の評価を得ています。



格付けは企業が発行する預金等の元金・利息の支払いの安全性、あるいは企業そのものの健全度・信用度を簡単な記号で表したもので、第三者である格付機関が公正な立場から格付けを行います。格付けの評価は企業の営業基盤の経済状況などが総合的に判断されます。

## トピックス

### 社会的責任投資指標の「FTSE4Good Index シリーズ」に選出

社会的責任投資（SRI: Social Responsibility Investment）指標で最も権威ある指標のひとつと言われる「FTSE4Good Index シリーズ」に選出されました。FTSE4Good Index シリーズとは、FTSEインターナショナル社\*により、2001年7月に開発された指標です。社会的責任投資の対象として、

- ・環境的側面（環境保全に向けた積極的な取り組み）
- ・社会的側面（ステークホルダーとの建設的な関係構築）
- ・人権（世界人権擁護に対する取り組み）

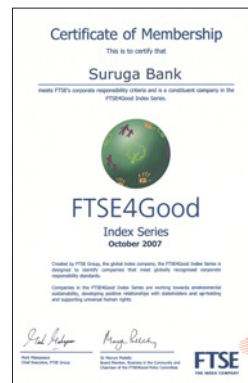
の3つの視点から企業のスクリーニングを行い、基準に適合した企業を選出しています。

世界における多くのSRI指標の中でも、企業の社会的責任や持続可能性に高い関心を持つ投資家にとって重要な投資選択基準となっています。

当社は今後も引き続き、CSR（企業の社会的責任）に積極的に取り組み、継続的な発展と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※英国のFinancial Times社とロンドン証券取引所の共同出資で設立された、株式・債券などの代表指数の開発・管理を専門に行っている機関です。

当社のCSR・文化支援活動の詳細はインターネットホームページをご覧ください。  
<http://www.surugabank.co.jp/surugabank/corporate/csr/index.html>



## トピックス

### 株式会社ゆうちょ銀行とスルガ銀行株式会社との業務提携

株式会社ゆうちょ銀行およびスルガ銀行株式会社は、個人ローン業務における業務提携協議の合意以降、お客さまの利便に役立つ広範な業務提携を真摯に協議・検討しました結果、提携内容について合意いたしました。

両行は、各々の経営資源を相互に活用し、金融商品・サービスの進展による国民経済への寄与を目的として、緊密に協働・連携してまいります。また、ゆうちょ銀行が当初スルガ銀行の代理店として、スルガ銀行の住宅ローン等の商品をお客さまに提供いたします。

両行は、この提携を通じて、個人のお客さまの生活設計・資産形成ニーズに多面的・積極的にお応えし、お一人おひとりの夢の実現をお手伝いします。

詳細はインターネットホームページをご覧ください。

<http://www.surugabank.co.jp/surugabank/kojin/topics/080424.html>



### スルガ銀行チャンピオンシップ 2008 OSAKA

#### Jリーグヤマザキナビスコカップ/コパ・スタメリカーナ 王者決定戦 プレゼンティングスポンサー協賛

今年度から開催される「Jリーグヤマザキナビスコカップ」王者と、南米のクラブ選手権のひとつである「コパ・スタメリカーナ」王者が対戦する「スルガ銀行チャンピオンシップ 2008 OSAKA Jリーグヤマザキナビスコカップ/コパ・スタメリカーナ王者決定戦」(財団法人日本サッカー協会、社団法人日本プロサッカーリーグ、南米サッカー連盟主催)のプレゼンティングスポンサーとして協賛することとなりました。

当社はこの大会のプレゼンティングスポンサーという活動を通じ、国民的なスポーツとして人気を集めているサッカーの、さらなる発展と成長を支援するとともに、「サッカー王国」静岡を本店所在地とする銀行として、サッカーに関わる人々の「夢の実現」をサポートします。

詳細はインターネットホームページをご覧ください。

<http://www.surugabank.co.jp/surugabank/kojin/topics/080414.html>



## スルガ銀行 チャンピオンシップ 2008 OSAKA

Jリーグヤマザキナビスコカップ/コパ・スタメリカーナ  
王者決定戦



## 地域への支援活動

当社は地域文化の活性化を図るため、地域の催事・記念行事への積極的な参加や文化支援活動などを通じて、皆さまとの連帯・共感を深め、地域社会の明るい発展に力強く貢献していきます。

### ●財団法人ベルナール・ビュフェ美術館

昭和48年創設の当美術館は、現代フランスの巨匠故ベルナール・ビュフェの作品約2,000点を収蔵し、多くの皆さまにご覧いただいています。また、子どもたちの参加体験型美術館「ビュフェこども美術館」も併設しています。



### ●株式会社エイ・ピー・アイ

重度身障者に雇用機会を提供することで、社会的経済的自立を促進するとともに、障害者自らが技術習得を図ることなどを目的とした印刷会社、株式会社エイ・ピー・アイを静岡県、沼津市、当社の共同出資で、平成2年に設立しました。なお、本誌の印刷は同社にご協力をいただいています。



### ●SURUGA CUP

地域社会のスポーツ振興をお手伝いするため、「スルガカップ静岡県ユース(U-15)サッカー選手権大会」「スルガカップ静岡県ユースサッカーリーグ」「スルガカップ静岡県サッカー選手権大会<天皇杯全日本サッカー選手権大会静岡県代表決定大会>」にスポンサー協賛しています。



### ●静岡サッカーミュージアム

平成16年8月に開館した当資料館は、サッカー王国静岡の歴史を後世に伝えていくため静岡県出身の歴代名選手のユニフォームやスパイクなどを多数展示し、パネルや大型スクリーンで静岡サッカーのすべてをわかりやすくご紹介しています。



### ●財団法人芹沢・井上文学館

作家芹沢光治良氏と井上靖氏の文学館を設立・運営しています。生前ゆかりの物品・資料を保存し公開しています。井上靖文学館は、文豪井上靖生誕100年を記念して平成19年4月にリニューアルオープンしました。



### ●財団法人スルガ奨学財団

当社創立者岡野喜太郎翁の100歳を記念して設立され、高校在学3年間、大学在学4年間、外国人留学生の大学在学2年間、それぞれ返済の義務のない奨学金を支給しています。奨学金制度による卒業生は平成20年3月末で4,828名にのぼります。



## 株式についてのご案内

### ◇ 決算日

毎年3月31日をもって決算を行います。

### ◇ 配当金

剰余金の配当を行う場合は、下記の剰余金の配当基準日における最終の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主に対し、お支払いいたします。

剰余金の配当の基準日 3月31日、9月30日

そのほか、当社が定めた基準日

配当金のお受け取りには、お近くの当社本支店・出張所の預金口座振込をご指定くださいますと、お受け取りが早くて便利です。

### ◇ 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

### ◇ 基準日

定時株主総会については、毎年3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

### ◇ 公告の方法

電子公告といたします。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。なお、銀行法第20条6項の規定による決算公告につきましては、当社ホームページの会社情報・IR情報欄の[決算公告]欄に掲載いたします。

### ◇ 株式事務取扱場所・取次所

#### (1) 株主名簿管理人

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

日本証券代行株式会社

#### (2) 同事務取扱場所

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

日本証券代行株式会社 本店

電話 03-3668-9211

[郵便物送付先お問い合わせ先]

〒137-8650

東京都江東区塩浜二丁目8番18号

日本証券代行株式会社 代理人部

(住所変更等用紙のご請求) 電話 0120-707-842

(その他のご照会) 電話 0120-707-843

株式お手続き用紙のご請求をインターネットでも受け付けております。

ホームページアドレス

<http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

#### (3) 同取次所

日本証券代行株式会社 各支店

### ◇ お知らせ

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式の買取・買増請求に必要な各用紙、および株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-707-842で承っておりますので、ご利用ください。



# 主なインターネット支店一覧

銀行取引でマイルが貯まる全く新しいマイレージ&バンキングスタイル

## ANA支店

<http://www.surugabank.co.jp/ana/>

フリーダイヤル/0120-029-589  
(海外から 055-98-02988)

お電話承り時間 9:30~17:00 (月~金曜日)  
(祝日を除く)



大好評の宝くじ付き商品をご提供

## ドリームダイレクト支店

<http://www.surugabank.co.jp/dream/>

フリーダイヤル/0120-86-1689

お電話承り時間 9:00~19:00 (月~金曜日)  
(祝日を除く) 9:00~17:00 (土曜日)



OCN会員の方専用の金融サービスが充実

## OCN支店

<http://www.surugabank.co.jp/ocn/>

フリーダイヤル/0120-005-175

お電話承り時間 9:00~17:00 (月~金曜日)  
(祝日を除く)



SE (システムエンジニア) 専用の支店

## エスイーバンク支店

<http://www.surugabank.co.jp/sebank/>

フリーダイヤル/0120-803-689

お電話承り時間 9:00~17:00 (月~金曜日)  
(祝日を除く)



女性向けのバンキングサイト

## ソネット支店

<http://www.surugabank.co.jp/so-net/>

フリーダイヤル/0120-50-2189

お電話承り時間 9:00~19:00 (月~金曜日)  
(祝日を除く) 9:00~17:00 (土曜日)



付加価値の高いビジネスローンサービスをご提供

## イービジネスダイレクト支店

<http://www.surugabank.co.jp/ebusinessdirect/>

フリーダイヤル/0120-185-285

お電話承り時間 10:00~19:00 (月~金曜日)  
(祝日を除く)



インターネットを活用した先進の金融サービスをご提供

## ダイレクトバンク支店

<http://www.surugabank.co.jp/directbank/>

フリーダイヤル/0120-708-807

お電話承り時間 9:00~17:00 (月~金曜日)  
(祝日を除く)



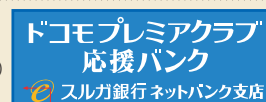
ネットライフをもっとアクティブに 各種金融サービスをご提供

## ネットバンク支店

<http://www.surugabank.co.jp/netbank/>

フリーダイヤル/0120-55-4189

お電話承り時間 9:00~17:00 (月~金曜日)  
(祝日を除く)



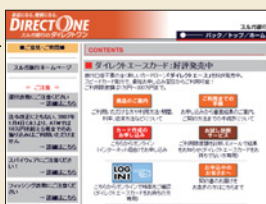
ローン中心のダイレクトバンキング

## ダイレクトワン支店

<http://www.surugabank.co.jp/directone/>

フリーダイヤル/0120-60-1616

お電話承り時間 10:00~20:00 (月~金曜日)  
10:00~17:00 (土・日・祝日)



詳細は  
インターネットホームページを  
ご覧下さい。



## 営業店舗網 (126か店) (平成20年5月31日現在)

### ●静岡県 (80か店)

- 9 E◎ 本店営業部
- 9 E◎ 沼津原町支店
- 9 E 徳倉支店
- 9 E◎ 沼津駅支店
- 9 E◎ 沼津大手町支店
- ※ 沼津市役所出張所
- 8 E◎ 沼津港支店
- 9 E◎ 沼津南支店
- 8 E 沼津静浦支店
- 9 E◎ 沼津青野支店
- 9 E 沼津あしたか支店
- 9 E◎ 沼津セントラル支店
- 9 E◎ 三島支店
- 9 E◎ 三島セントラル支店
- 9 E◎ 三島西支店
- 9 E◎ 長泉支店
- 9 E ウェルディ長泉出張所
- ANA支店
- OCN支店
- ソネット支店
- ダイレクトバンク支店
- ドリームダイレクト支店
- ネットバンク支店
- マイ支店
- エスイーバンク支店
- ダイレクトワン支店
- イービジネスダイレクト支店
- タウンネットワーク支店
- ハウジングローン支店
- 9 E◎ 清水町支店
- 9 E◎ 大場支店
- 9 E◎ 伊豆長岡支店
- 9 E◎ 伊豆中央支店
- 8 E◎ 修善寺支店
- 8 E◎ 中伊豆支店
- 8 E 天城湯ヶ島支店
- 9 E◎ 熱海支店
- 9 E◎ 熱海駅支店
- 9 E◎ 伊東支店
- 9 E◎ 伊東駅支店
- 8 E◎ 下田支店
- 8 E◎ 松崎支店
- 8 E◎ 伊豆稲取支店
- 9 E◎ 御殿場駅支店
- 9 E◎ 御殿場西支店
- 9 E◎ 御殿場東支店
- 8 E◎ 裾野支店
- 9 E◎ 小山支店
- 9 E◎ 富士吉原支店
- 9 E 富士市役所前出張所
- 9 E◎ 富士支店
- 8 E◎ 新富士駅支店
- 9 E◎ 富士鷹岡支店
- 8 E◎ 富士宮支店
- 8 E◎ 清水支店
- 8 E 興津支店
- 9 E◎ 清水駅支店
- 9 E◎ 清水三保支店
- 8 E 清水高橋支店
- 9 E◎ 草薙支店
- 9 E◎ 静岡支店
- 9 E◎ 静岡南支店
- 6 ◎ 静岡県庁支店
- 8 E◎ 伝馬町支店
- 9 E◎ 静岡東支店
- 8 E 静岡上土支店
- 8 E◎ 焼津支店

- 9 E◎ 岡部支店
- 9 E◎ 藤枝駅支店
- 8 E◎ 島田支店
- 9 E◎ 榛原支店
- 8 E◎ 相良支店
- 10 E◎ 金谷支店
- 9 E◎ 掛川支店
- 8 E◎ 袋井支店
- 8 E◎ 磐田支店
- 8 E 天竜支店
- 9 E◎ 浜松支店
- 8 E 浜松追分支店
- 8 E◎ 浜松北支店

### ●神奈川県 (36か店)

- 8 E◎ 横浜支店
- 6 神奈川県庁出張所
- 11 E◎ 横浜東口支店
- 9 E◎ 横浜日吉支店
- 9 E◎ 横浜戸塚支店
- 8 E◎ 横浜弥生台支店
- 8 E◎ 横浜若葉台支店
- 9 E◎ 横浜磯子支店
- 9 E◎ 横浜六ツ川支店
- 9 E◎ 横須賀支店
- 8 E◎ 横須賀武山支店
- 9 E◎ 久里浜支店
- 8 E◎ 三浦海岸支店
- 8 E◎ 鎌倉支店
- 9 E◎ 藤沢支店
- 8 E◎ 湘南ライフタウン支店
- 9 E◎ 湘南台支店
- 6 E 慶應義塾大学出張所
- 9 E◎ 辻堂支店

- 9 E◎ 茅ヶ崎支店
- 9 E◎ 茅ヶ崎鶴が台支店
- 8 E 浜見平支店
- 9 E◎ 平塚支店
- 9 E◎ 厚木支店
- 9 E◎ 厚木鳶尾支店
- 8 E◎ 相模原支店
- 8 E◎ 東林間支店
- 8 E◎ 中央林間支店
- 9 E◎ 海老名支店
- 9 E◎ 秦野支店
- 9 E◎ 小田原支店
- 9 E◎ 小田原東支店
- 8 E◎ 松田支店
- 8 E◎ 南足柄支店
- 9 E◎ 箱根支店
- 8 E 湯河原支店

### ●東京都 (5か店)

- 9 E◎ 東京支店
- 6 E◎ 渋谷支店
- 6 E◎ 新宿支店
- 7 E ミッドタウン支店
- ゆうちょ専用支店

### ●その他 (5か店)

- 6 E 柏出張所
- 6 E 大宮出張所
- 6 ◎ 名古屋支店
- 6 大阪支店
- 6 札幌支店

## 自動取引機 (ATM) 設置状況

●店舗内設置	111か所	337台
●店舗外設置	21,376か所	22,101台
(うちセブン銀行ATM)	12,390か所	13,052台)
(うちイーネットATM)	8,359か所	8,392台)
(うちタウンネット ワークサービスATM)	445か所	445台)
●合計		22,438台
	(平成20年4月末現在)	

## 店舗のご案内

◎印は外貨両替取扱店

○印は外貨両替取扱店(外貨現金売渡のみ)

E印はATM、土曜・日曜・祝日取扱店

(1/1~1/3および5/3~5/5を除く)

<5/3~5/5のうち日曜日にあたる日は営業>

6はATM平日18時まで取扱店

7はATM平日19時まで取扱店

8はATM平日20時まで取扱店

9はATM平日21時まで取扱店

10はATM平日22時まで取扱店

11はATM平日23時まで取扱店

※はATM平日17時30分まで取扱店

## ローンご相談窓口

ドリームプラザ日本橋	平塚ハウジングローンセンター
ドリームプラザ渋谷	厚木ハウジングローンセンター
ドリームプラザ新宿	中央林間ハウジングローンセンター
ドリームプラザ柏	小田原ハウジングローンセンター
ドリームプラザ大宮	三島ハウジングローンセンター
ドリームプラザ横浜	富士ハウジングローンセンター
ドリームプラザ名古屋	静岡ハウジングローンセンター
ドリームプラザ大阪	藤枝ハウジングローンセンター
ドリームプラザ札幌	浜松ハウジングローンセンター
横須賀ハウジングローンセンター	ダイレクトハウジングローンセンター
藤沢ハウジングローンセンター	

## 資産運用ご相談窓口

ドリームサロン渋谷	ドリームサロン茅ヶ崎
ドリームサロン新宿	ドリームサロン小田原
ドリームサロン日本橋	ドリームサロン厚木
ドリームサロン横浜	清水ファイナンシャルプラザ
ドリームサロン藤沢	

## 銀行代理店 (50か店)

### 銀行代理業者の商号

株式会社ゆうちょ銀行

### 銀行代理業務の概要

ゆうちょ銀行直営店50店舗においてスルガ銀行の住宅ローン等個人ローン業務に係る契約締結の媒介

### ●埼玉県 (6か店)

さいたま支店

川越店

熊谷店

川口店

所沢店

越谷店

### ●千葉県 (4か店)

船橋店

習志野店

柏店

八千代店

### ●神奈川県 (8か店)

横浜店

都筑店

青葉台店

港北店

川崎店

登戸店

藤沢店

橋本店

### ●東京都 (13か店)

本店

京橋店

芝店

浅草店

蒲田店

品川店

渋谷店

中野店

豊島店

赤羽店

練馬店

光が丘店

立川店

### ●岐阜県 (1か店)

岐阜店

### ●愛知県 (3か店)

名古屋支店

中川店

豊橋店

### ●三重県 (1か店)

四日市店

### ●京都府 (2か店)

京都店

伏見店

### ●大阪府 (6か店)

大阪支店

大阪東店

堺店

吹田店

枚方店

布施店

### ●奈良県 (1か店)

奈良店

### ●兵庫県 (4か店)

神戸店

姫路店

尼崎店

宝塚店


### ●和歌山県 (1か店)

和歌山店



スルガ銀行

詳しい内容、お問い合わせは

アクセス  
センター  **0120-50-8689**

お電話 承り時間 月～金曜日(祝日を除く) 9:00～19:00

ホーム  
ページ [www.surugabank.co.jp](http://www.surugabank.co.jp)



JQA-QM4469  
JQA-EM1256  
JQA-IM0301  
アクセスセンター

